

生活協同組合あいコープみやぎ 機関紙

あいあいあい



(協会)生活協同組合あいコープみやぎ 理事会
〒985-0095 仙台市青葉区日の出町5丁目12番1号
TEL.022-284-7241 FAX.022-284-3373
http://www.miyagi.coop

生産者支援金のお願い

沿岸部を中心に、多くの生産者が被災し、苦境に立たされています。「食の自給と安全」は生産者の存在なくしてはあり得ません。生産者へのお見舞い支援のためのご協力をお願いします。

生産者支援金の申し込み番号

000701 / 10 200円

ポイント支援金に際する場合

222223 / 10 500円

(注文番号欄: 枚番号, 個数欄: 口数を記入下さい) / >インターネットでも

毎日食べよう! 「あいごはん」



7月7日の総代会に参加しよう!! 議案書説明会を開催します。

暮らしと社会を見直す あいコープの原点に立とう! 脱原発を目指して!

特集

7月7日(木)ハーネル仙台 AM9:45~
(仙台市青葉区2-12-7)
総代会へ向けて

総代会は、生協あいコープみやぎの最高機関です。食の自給と安全・自然環境保全・地域福祉推進という理念(=活動目標)実現のため、今年度の活動方針を決定する大切な場であり、利用・出資・運営参加というあいコープ組合員としての権利を行使する場でもあります。

今回のあいあいあいから、議案書の中身を数回に分けてお話しをします。何か疑問や質問が思い浮かんだら議案書説明会にて話し合います。

「皆さん、ご参加下さい」

(理事・鈴木 智子)

2. 原発に依存せず、自然エネルギーを活用し、自然環境を保全する協同共生社会への転換を追求します。

私たちは、暮らしを見直し、すべての命を大切に、自然と共存共生できる社会を目指します。そのために、再生可能な自然エネルギーの活用を進め、より原発はめ既存の原発を順次廃炉にし、原子力に依存しない社会を実現する運動を進めます。自然エネルギー実用化基金(仮称)を設け、モデルとなる発電設備や汚水処理システムなどを実験提供します。また、脱原発を進める専門委員を設け、原発や再生可能エネルギー等について学習と情報提供を進めます。(理事・鈴木 智子)

3. 生産者と協同し、エネルギーを含めた地産地消と道の、食の自給と安全を実現していきます。

水産、農畜産など、今回の大震災及び原発事故で多くの人々の生産者が被災し、復興には、長い時間を要すると思われていますが、これまで信頼関係を築き、安心で安全な商品を届けてくれた生産者を支援し、太陽光、風力など再生可能な自然エネルギーの活用を取り入れた生産を共に目指し、買い支える事で、生産地の復興を進めます。そして依然として進められているTPPにも反対します。TPPへの参加を認めたら、食の自給、地域復興はあり得ません。また、原発事故により放出された放射能を自主的に測定し、組合員、生産者が情報を共有すると共に、怖がるだけでなく、しっかりとその意味を理解し、前向きに暮らしのための学習会(第1回は6月13日の田中優子講演会、その後各地区で学習会を予定)を開催します。更にネオエコノミー系農業を始め、すべての農薬、化学肥料の100%削減をめざし、食の安全も自然環境についても、組合員の納得できる商品を提供し、私たちが組合員はそれを生産者が再生産できる価格で購入していきます。そしてこれまであいコープが大切にしていた理念、震災後新たに取り組む活動などをしっかりと理解し、食の大切さを伝える「食の後継者」を組合員、生産者共に進めています。(理事・高野 徳典)

あいちのび

6/21(火) あいコープ 日の出センター

6/22(水) 仙台市体育館

6/23(木) 若沼村にはま 集会所

小情報7月号 (P.15~17)

6/24(金) シエルコア せんだい

7/1(金) 第1回 がんばりかた in 泉

7/2(土) 子供たちの未来のために 脱原発を建てる委員会企画

「毎日の生活・どうしてる?」
会場: シエルコア せんだい (10:00~12:00)

7/7(木) 総代会 会場: ハーネル仙台 9:45~

地区の予定

7/4(日) 青B地区

鎌田 醤油文と

おしゃべりする会
会場: エレベ7仙台
言問理室 10:00~12:00

7/5(金) しゃい地区

がんばりかた in しゃい

ヨガでリラクス

「お茶っ」飲あつちや
会場: 日の出センター
10:00~12:00

議案書説明会 10:00~12:00

脱原発

あいコーポが『今、できること』



放射能自主測定方針の生産者説明会を開催

6月10日、あいコーポが行なう放射能自主測定についての生産者向け説明会を開催されました。
宮城・福島・茨城・山形などの農業、畜産、水産業等の生産者が約50人集まり、あいコーポの自主測定に協力していくことを確認しました。

石巻工業高校で炊き出し!

石巻での炊き出しはパレステムと一緒に、毎週系送続しています。
6月9日は石巻工業高校で昼休みに行いました。まだお弁当を持ってくることがままならない生徒も多く、お腹を空かせているという情報が入ったのです。
700人の生徒さん全員に中華丼をふるまい、たいへん喜んでいただけました。

生産者 っうしん!!

大震災後、宮城県・岩手県を中心に、水産物や農産物の生産者へは甚大な被害を受け、ご多難とくお水たがもありません。この日の復興に向けて皆の力を合わせて頑張りたいと思います。

心を元気にする4カラ、心を和ませ研かう、心をつなぐ4カラ

取材に伺った6月5日(日)は、お礼も開催が危ぶまれてながらも実現した第11回「とっておきの音楽祭 SENDAI 2011」でした。障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しむ、ストリート音楽祭。
ケヤキの緑が濃くなってきた定禅寺通りの中央分離帯の一角のオーブンカフェ。珈琲多務定禅寺通り店のちよと真向かいに設営したステージでは、アマチュアバンドの演奏中。そこに珈琲多務の伊藤さんご夫妻がいらっやいました。入れたこのコーヒーの香りが漂います。

仙台市青葉区の珈琲多務さん。震災の日の翌日から、定禅寺通り店を開けていたそうです。勾当台公園の小さな水道に水をくみに行って運んできて、からうじて電気は大丈夫だったので、お湯を沸かし、お店にあったコーヒー豆の在庫がなくなるまで、暖かいコーヒーの炊き出しをして喜んでいただけました。泉区から歩いて来たあいコーポの組合員さんもおいたとか。でも着床ガスの供給停止のため、焙煎が出来る、原料豆の入荷も物流の混みで止まってしまいました。その後、ようやく6月1回から再開。

「皆さんが、このコーヒーの香りと味で、ほっとする日が来てくれたらうれしいですね。」と伊藤さん。やさしい果さんと二人三脚でこれからも美味しいコーヒーを供給してあげたい。理事 吉野むつ

328 珈琲多務
珈琲多務リッチアメリカン(粉)
200g 665円(税込698円)



珈琲多務の伊藤さん

原発に頼らない社会へ

あいコーポみやぎは、東北電力に『女川原発、東通原発の廃炉』を要請しました。

私たちは、32年余り生産者と共に地産地消を進めてきたが、^{東京電力}福島原発事故による放射能は海洋や土壌や空気を汚染し、食の安全と自然環境がこれまでになく脅かされています。福島ばかりでなく宮城でも、牧草などに確実に汚染が広がっています。海洋でも重大な放射能汚染が進行している。東北電力の原発には、女川原発1号機と東通原発1号機がありますが、原発の安全祈願が崩れた今、万が一福島原発のような事故が起これば東北は壊滅的被害になります。

6月13日(月)、私たちは東北電力本社を訪れ、東北電力が現在停止中の4つの原子炉をこのまま廃炉にすることを強く申し入れる要請文を読み上げ、東北電力に手渡しました。

申し入れの後、記者会見を行い、「東北電力は安全な再生可能エネルギー供給にシフトし、その面での先進的技術研究に力を尽くしてほしい」と訴えました。この申し入れと記者会見は、東北の市民グループ(岩手会・わかぬの会・PEACE LAND)などとともに行いました。

子ども達の未来のために 脱原発を進める委員会 担当理事 鈴木智子

わ・は・か 今こそ、「みんなの輪」 わ・は・わ美里 開所式

穏やかな初夏を思わせる日差しの中で、6月1日、社会福祉法人みんなの輪 わ・は・わ美里の開所式が行われました。美里町青生幼稚園を改装し、地域に根ざした指定障害福祉サービス事業所として生まれ変わりました。美里町佐木町長を始め、多くの地元の方々や社会福祉協議会、美里町議会の方々が来てくださり、祝辞を頂戴いたしました。
みんなの輪では、「障害のあるなしに関わらず誰もが安心して暮らせる地域社会」づくりをめがけています。わ・は・わ美里は、14箇所目の施設になります。今回の震災による建物の被害の心配もなく、ジャム工房では、利用者さんが心を込めて作るジャム作りが行われます。安心して自立を目指して働ける心豊かな場所として、また美里町の地域をつなぐ大切な場所となることを祈り、これからも応援していきたいと思っております。
理事 高橋千佳